

2022年度 第45回 全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会水球 【戦評】

会場：千葉県国際総合水泳場

【2023/3/30】

**C3位**

京都水球クラブ 6

1	—	4
0	—	2
2	—	1
3	—	3

10 山口水球クラブ

PSO

原 汐音

審判:

温井 由真

京都水球クラブ	20	SH数	20	山口水球クラブ
	1	速攻数	3	
	5	ST・SB	7	
	3	SH・P誘発アシスト	7	
	23%	GK阻止率	50%	
	5	EX反則数	3	

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

この試合までのチーム集計	Shoot	得点	P・EX	誘発PE	Sアシスト	Steal	速攻	コントラ	失点	GK阻止率
京都水球クラブ	63	28	15	14	15	34	15	7	31	27.9%

  

この試合までのチーム集計	Shoot	得点	P・EX	誘発PE	Sアシスト	Steal	速攻	コントラ	失点	GK阻止率
山口水球クラブ	86	44	8	20	23	30	14	11	29	35.6%

【試合の流れ】

京都水球は強豪チームには分が悪かったが、その他の相手には確実性で上回り、3位決定戦に進出してきた。山口は④吉中、⑥亀井でここまで5試合で30得点を挙げ、チーム得点の66%はこの2選手がマークする攻撃型チーム。京都水球は山口のこの2選手をどこまで抑えることができるかが勝負の行方を握る3位決定戦。

1P

京都水球は立ち上がりから山口水球のエース⑥亀井を2人で徹底的にマーク。しかしながら、⑥亀井が個人技から先制に成功。その後も攻撃のキーマンである⑥亀井、④吉中が相手チームのミス突き、立て続けに得点。勢いは止まらない。ピリオド終盤に京都水球⑩赤井が得点。京都は持ち前の泳ぐ水球でチャンスを生み出すことはできているものの、うまく得点まで結びつけることができない。山口水球④吉中がピリオド残り3秒でこの試合初の退水を誘発し、数的有利のまま1-4で1ピリオドが終了。

2P

センターボールを山口水球が取り、数的有利のままピリオドが開始され、その数的有利を活かした⑥亀井が高い位置からシュートを打ち、得点。山口水球は角度のない場所からシュートを打たせ、①小林が的確にセーブして速攻を狙うディフェンスを展開している。京都水球が自分たちの流れからシュートの形まで持って行けていない。パスミスやキープミスが目立ち、退水やカウンター攻撃を受けてしまっている。⑥亀井、④吉中の攻撃が躍動し1-6で山口水球がリードしたまま前半を折り返す。

3P

後半の先制点は京都水球。⑨吉田のロングドライブから力強いシュートが炸裂。反撃の狼煙のきっかけとなった。この得点をきっかけに京都のオフenseが活発になってきた。⑨吉田、⑩赤井を中心に、回しこみやドライブ等、前半と比べてオフenseが積極的になっている。また、ディフェンスもいつものハイプレスディフェンスから退水を連発。これでチームの流れを引き戻すことができるのか。3-7で山口水球がリードしたまま最終ピリオドを迎えるが、得点差を縮めた京都水球に流れが傾きつつあり、追いつき勝ち越すことが出来るのか最終ピリオドに期待である。

4P

両チームとも相手のミス突き、カウンターへ出るが、なかなか決めることができない。京都水球が退水を誘発し、⑩赤井がこれを確実に得点していく。相手のミス誘い出して得点に成功し得点差を縮めるが、山口水球も④吉中、⑥亀井のホットラインから得点を重ねており、点の取り合いのピリオドとなっている。第3ピリオドからは明らかに京都水球のペースだったものの前半の得点差が響き、点差が縮まらないまま6-10で試合終了。

山口水球は④吉中、⑥亀井のホットラインが機能したことで、序盤から確実に得点を重ねることに成功し、3位決定戦を制した。